

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 1/4 >

(データ集約：9/28)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (Bq/kg (生)) (半減期)		
			Cs-134 (約2年)	Cs-137 (約30年)	Cs合計
アイナメ(筋肉)No.38	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年9月11日	21	25	46
アイナメ(筋肉)No.39	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年9月11日	24	38	62
アイナメ(筋肉)No.40	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年9月11日	26	36	62
アイナメ(筋肉)No.41	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年9月11日	32	55	87
アイナメ(筋肉)No.42	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年9月11日	42	72	114
アイナメ(筋肉)No.43	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年9月11日	47	67	114
アイナメ(筋肉)No.44	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年9月11日	32	60	92
アイナメ(筋肉)No.45	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年9月11日	40	60	100
アイナメ(筋肉)No.46	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年9月11日	70	100	170
アイナメ(筋肉)No.47	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年9月11日	46	62	108

基準値 (平成24年4月1日以降) Cs-134、Cs-137の合計：100Bq/kg。

分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 2/4 >

(データ集約 : 9/28)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 ( Bq / kg (生) ) (半減期)		
			Cs - 134 (約2年)	Cs - 137 (約30年)	Cs 合計
アイナメ(筋肉)No.48	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年9月12日	28	40	68
アイナメ(筋肉)No.49	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年9月12日	36	69	105
アイナメ(筋肉)No.50	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年9月12日	16	27	43
アイナメ(筋肉)No.51	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年9月12日	22	24	46
アイナメ(筋肉)No.52	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年9月12日	ND	14	14
カナガシラ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成24年9月10日	4.0	9.1	13.1
コモンカスベ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成24年9月10日	63	110	173
ババガレイ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成24年9月10日	34	52	86
ヒラメ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成24年9月10日	ND	6.1	6.1
マコガレイ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成24年9月10日	8.6	22	30.6

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約14Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：100Bq/kg。

分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 3/4 >

(データ集約 : 9/28)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 ( B q / k g ( 生 ) ) (半減期)		
			C s - 1 3 4 (約2年)	C s - 1 3 7 (約30年)	C s 合計
マトウダイ(筋肉)	1F敷地沖合10km付近(T-B3)	平成24年9月10日	8.1	8.9	17
イシガレイ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年9月10日	49	68	117
カガミダイ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年9月10日	ND	ND	ND
カナガシラ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年9月10日	5.4	12	17.4
コモンカスベ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年9月10日	100	180	280
チダイ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年9月10日	ND	7.1	7.1
ヒラメ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年9月10日	31	54	85
ホシザメ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年9月10日	12	15	27
マコガレイ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年9月10日	49	64	113
マダイ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年9月10日	ND	ND	ND

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Cs-134が約4.4Bq/kg(生)、Cs-137が約4.8Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：100Bq/kg。

分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 4/4 >

(データ集約 : 9/28)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (Bq/kg (生)) (半減期)		
			Cs-134 (約2年)	Cs-137 (約30年)	Cs合計
マトウダイ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年9月10日	13	19	32
ムシガレイ(筋肉)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年9月10日	10	21	31

基準値 (平成24年4月1日以降) Cs-134、Cs-137の合計 : 100Bq/kg。

分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施

## 魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 1/3 >

【放射性Cs以外の核種が検出された魚介類の測定結果】

(データ集約：9/28)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (Bq / kg (生)) (半減期)		
			Ag - 110m (約250日)	Sr - 90 <sup>*</sup> (約29年)	参考 (Cs-134とCs-137 の合計)
エゾハリイカ(全体)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年5月17日	26	-	ND
エゾハリイカ(全体)	小高区沖合15km付近(T-B1)	平成24年5月30日	5.4	-	ND
エゾハリイカ(全体)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年5月30日	26	-	ND
エゾハリイカ(全体)	2F敷地沖合10km付近(T-B4)	平成24年4月26日	23	-	ND
ガザミ(全体)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年5月9日	21	-	ND
ガザミ(全体)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年6月6日	15	-	ND
ガザミ(全体)	小高区沖合3km付近(T-S2)	平成24年6月6日	23	-	7.7
ガザミ(全体)	2F敷地沖合2km付近(T-S7)	平成24年5月30日	19	-	7.1
シロメバル(筋肉)	1F敷地沖合3km付近(T-S4)	平成24年5月25日	ND	0.33	1590
シロメバル(筋肉)	木戸川沖合2km付近(T-S5)	平成24年5月2日	ND	0.53	1880

「-」は測定対象外。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Ag-110mが約10Bq/kg(生)、Cs-134が約6.9Bq/kg(生)、Cs-137が約5.2Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：100Bq/kg。

Ag-110m分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施。Sr-90分析は株式会社環境総合テクノスにて実施。

<sup>\*</sup> 魚全体で測定(Sr-90については、魚全体を測定しておりますので、赤字部分を平成24年11月30日に追記しました)

## 魚介類の核種分析結果 < 福島第一原子力発電所 20 km 圏内海域 > < 2/3 >

【放射性Cs以外の核種が検出された魚介類の測定結果】

(データ集約：9/28)

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 ( Bq / kg (生) ) (半減期)		
			Ag - 110m (約250日)	Sr - 90 <sup>*</sup> (約29年)	参考 (Cs-134とCs-137 の合計)
ジンドウイカ(全体)	請戸川沖合18km付近(T-B2)	平成24年6月14日	8.2	-	ND
スズキ(筋肉)	木戸川沖合2km付近(T-S5)	平成24年4月7日	ND	0.25	1610
ババガレイ(筋肉)	木戸川沖合2km付近(T-S5)	平成24年4月11日	ND	1.5	1260
ババガレイ(筋肉)	木戸川沖合2km付近(T-S5)	平成24年5月2日	ND	1.1	1140
ヒラツメガニ(全体)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年5月9日	25	-	ND
ヒラツメガニ(全体)	太田川沖合1km付近(T-S1)	平成24年6月6日	13	-	8.3
ヒラツメガニ(全体)	小高区沖合3km付近(T-S2)	平成24年5月9日	24	-	ND
ヒラツメガニ(全体)	小高区沖合3km付近(T-S2)	平成24年6月6日	24	-	ND
ヒラツメガニ(全体)	請戸川沖合3km付近(T-S3)	平成24年6月27日	22	-	9.6
ヒラツメガニ(全体)	1F敷地沖合3km付近(T-S4)	平成24年5月25日	43	-	15.1

「 - 」は測定対象外。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

Ag-110mが約12Bq/kg(生)、Cs-134が約5.0Bq/kg(生)、Cs-137が約5.0Bq/kg(生)。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

基準値(平成24年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：100Bq/kg。

Ag-110m分析は東電環境エンジニアリング株式会社にて実施。Sr-90分析は株式会社環境総合テクノスにて実施。

<sup>\*</sup> 魚全体で測定(Sr-90については、魚全体を測定しておりますので、赤字部分を平成24年11月30日に追記しました)

